

# 大学入学者選抜に関する最新動向

高等教育局大学教育・入試課大学入試室

## 〈内容〉

1. 令和6年度大学入学者選抜について
2. 高大接続改革の現状について
3. 大学入学者選抜における好事例集
4. 新学習指導要領に対応した  
令和7年度大学入学者選抜について
5. 令和7年度大学入学共通テストにおける  
「情報Ⅰ」の導入について

# 1. 令和6年度大学入学者選抜について

## 令和6年度大学入学者選抜実施要項のポイント ① (令和5年6月2日付5文科高第369号 文部科学省高等教育局長通知)

### 新型コロナウイルス感染症対策関係

5月8日から新型コロナウイルス感染症は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(平成10年法律第114号)上の新型インフルエンザ等感染症に該当しないものとし、5類感染症に位置づけられることから、「第14 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等」は、実施要項上一般化できるものや、令和6年度大学入学者選抜実施時においても新型コロナウイルス感染症の影響が残るもの等を除き、削除するとともに感染症対策ガイドラインも作成しないこととする

《令和6年度大学入学者選抜実施時においても新型コロナウイルス感染症の影響が残るもの(又は、激変緩和措置として据え置くもの)》

### 大学入学共通テスト

新型コロナ後、全都道府県に設定してきた追試験場については、今後何らかの現状変更がされない限り、従前の全国2会場に戻すが、激変緩和措置として、追試験は本試験の2週間後に設定

● **試験期日 (日程のみ変更)** ※昨年度と同様に本試験、追試験の2段構え

● 本試験・・・令和6年1月13日(土)、14日(日)

● 追試験・・・令和6年1月27日(土)、28日(日)

※本試験の2週間後に追試験を実施

### 各大学の個別選抜

● **調査書を活用する場合の留意事項(継続)**

・ 令和6年度大学入学者選抜の受験者の調査書においては、新型コロナウイルス感染症の影響が残るため、調査書の活用に当たっては、記載内容が少ないこと等を理由に不利益を被らないようにする

## 令和6年度大学入学者選抜実施要項のポイント ② (令和5年6月2日付5文科高第369号 文部科学省高等教育局長通知)

### 《一般化できるもの》

#### 各大学の個別選抜

##### ●オンライン面接等における留意事項(継続)

- ・志願者の居住地や大学の実情等に応じて、ICTを活用したオンラインの試験等の工夫をする場合、利用環境の差異等により不利益が生じないように配慮することや不正行為への注意喚起を要請

##### ●外国人を対象とした入試における留意事項(継続)

- ・入学志願者にかかる負担軽減の観点から、オンラインによる試験の実施等により、可能な限り渡航を伴わない方法により実施するなどの工夫に配慮する

##### ●不測の事態が生じた場合の受験機会の確保(継続)

- ・不測の事態により、試験に遅刻した者又は受験できなかった者がいる場合には、試験時間の繰り下げや別日程への振替等の対象とするなど、受験機会の確保等に配慮する

##### ●一般的な感染症対策(継続)

- ・試験実施時期における感染症の流行状況等を踏まえ、効果的な換気や手指衛生の励行など感染症の特徴に応じた基本的な感染症対策を講じることとする

## 令和6年度大学入学者選抜実施要項のポイント ③ (令和5年6月2日付5文科高第369号 文部科学省高等教育局長通知)

### その他

##### ●教学マネジメント指針(追補)について(内容追加)

- ・アドミッション・ポリシーの策定・公表に当たり、参考するものとして令和5年2月に中央教育審議会大学分科会において取りまとめられた「教学マネジメント指針(追補)」を追加

##### ●高等学校教員や受験生等の負担軽減(新規)

- ・調査書以外の志願者本人が記載する資料や高等学校に記載を求める資料について、編集可能な様式のデータファイルを提供すること等により、作成者の負担軽減に努めること

##### ●受験生等への情報提供(内容追加)

- ・受験者本人への成績開示を含む情報の開示については、情報を入手する者の利便性の向上に十分に努めるものとする

##### ●試験問題作成時の機密性の確保(内容追加)

- ・パソコン等を使用して試験問題を作成する場合、第三者からのアクセスを防止する措置を講じること

##### ●不正防止対策関係(継続)

- ・各大学の判断により、例えば、不正行為について、警察に被害届を提出する場合があることを周知すること
- ・受験者の所持品の取扱いを募集要項等で明示しておくこと
- ・試験の態様の応じて、試験開始前に電源を切らせ、鞆に収納させること等についても説明を行うこと
- ・巡視時に注意を要する観点(例：手の位置、受験生の目線等)を踏まえ、監督者等に周知しておくこと

##### ●安全対策関係(継続)

- ・試験実施当日の安全対策について、必要に応じて警察等と連携して対応すること
- ・大学の実情に応じて、必要な警備要員の確保と試験場周辺の十分な巡回に努めること
- ・警察や消防等の協力の下、危機事象発生時のマニュアル等を整備し、定期的に見直すこと



# 多様な背景を持った者を対象とする選抜の実施

## ■背景

- 形式的公平性の確保とともに、多様な背景を持つ学生の受入れへの配慮など**実質的公平性の追求が重要**
- また、多様な価値観が集まり新たな価値を創造するキャンパスを実現する観点から、各大学の創意工夫の一方策として、アドミッション・ポリシーに基づき、各大学が**キャンパスに多様性をもたらすことができる**と考える者を対象とする選抜を実施することも有効
- **そうした選抜が実施できることを明確にするため**、入学者選抜の基本方針である実施要項の入試方法に「**多様な背景を持った者を対象とする選抜**」を追加

## ■令和5年度大学入学者選抜実施要項（令和4年6月3日付文部科学省高等教育局長通知）（抄）

※令和7年度実施要項の予告として通知していたものを令和5年度実施要項から前倒して反映

### 第3 入試方法

#### 1 (略)

2 一般選抜のほか、各大学の判断により、入学定員の一部について、以下のような多様な入試方法を工夫することが望ましい。

#### (1)～(4) (略)

#### (5) 多様な背景を持った者を対象とする選抜

**家庭環境、居住地域、国籍、性別等の要因により進学機会の確保に困難があると認められる者**その他**各大学において入学者の多様性を確保する観点から対象になると考える者**（例えば、理工系分野における女子等）を対象として、**入学志願者の努力のプロセス、意欲、目的意識等を重視し、評価・判定する**入試方法。

この方法による場合は、こうした**選抜の趣旨や方法について社会に対し合理的な説明**を行うことや、入学志願者の大学教育を受けるために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を適切に評価することに留意すること。

# 多様な背景を持った者を対象とする選抜の実施【留意点】

## ■属性により取扱いの差異を設ける場合に留意すべき点

### 前提

合理的な理由なく、性別、年齢、現役・既卒の別、出身地域、居住地域等の属性を理由として一律に取扱いの差異を設けることは公平性・公正性を欠く不適切な入試である。

(最低要件)

### ① 合理的な理由を説明できること

- **入学志願者の属性が要因となり、進学機会の確保に困難がある場合**  
当該選抜を実施することにより、**社会的障壁の除去の一助となること**が合理的に説明できる必要がある。
- **入学者の多様性を確保する場合**  
例えば以下の観点について、合理的に説明できる必要がある。

#### 検討の観点例

特別選抜の設定を検討する分野（学科、コース等）ごとに、以下を整理。

- (1) 当該分野において、特定の属性の入学者が**過少であるとする理由や背景**をどのように分析しているか。
- (2) 当該特定の属性の受験者が、特に**どのような能力等を入学後に発揮してほしいと期待**しているのか。
- (3) **現行の選抜方法や評価尺度と比べ、どのような違い**を持たせるのか。また、それらが(2)の能力等を適切に評価できるものとなっているのか。

### ② 選抜区分（枠）を分けて実施すること

同一選抜区分においては、公平な条件での実施が不可欠であるため、特定の属性により取扱いの差異を設ける場合は、原則として**選抜区分（枠）を分けて実施する必要**がある。

## 理工系の女子を対象とする大学入学者選抜の例（令和5年度入試）①

設置主体	大学	学部	学科	選抜区分	募集人員	出願期間	試験日	選抜方法
1 国立	富山大学	工学部	工学科(電気電子工学コース、知能情報工学コース、機械工学コース)	学校推薦型選抜	8名	令和4年11月1日～8日	令和4年11月30日 ※令和5年度入試より実施	・推薦書、調査書、志願理由書 ・小論文 ・面接(基礎学力に関する試問を含む)
2 国立	名古屋大学	工学部	・電気電子情報工学科 ・エネルギー理工学科	学校推薦型選抜	9名	令和5年1月17日～20日	令和5年2月12日 ※令和5年度入試より実施	・志願理由書、推薦書及び調査書並びに大学入学共通テストの成績 ・口頭試問による面接
3 国立	名古屋工業大学	工学部第一部	高度工学教育課程 電気・機械工学科	学校推薦型選抜	15名	令和4年11月1日～7日	令和4年11月23日 ※平成6年度入試より実施	・書類選考 ・筆記試験(数学・物理) ・面接

注:ウェブ上に公表されている各大学の募集要項等の情報により作成

## 理工系の女子を対象とする大学入学者選抜の例（令和5年度入試）②

設置主体	大学	学部	学科	選抜区分	募集人員	出願期間	試験日	選抜方法
4 国立	島根大学	材料エネルギー学部	材料エネルギー学科	学校推薦型選抜	6名	令和5年1月23日～令和5年2月1日	令和5年2月8日 ※令和5年度入試より実施	・推薦書、調査書、志願理由書 ・大学入学共通テスト(基礎的な学習の達成の程度をみるもの) ・面接
5 公立	兵庫県立大学	工学部	・電気電子情報工学科 ・機械・材料工学科 ・応用化学工学科	学校推薦型選抜	各学科5名	令和4年11月1日～11日	令和4年11月26日 ※平成27年度入試より実施	・書類審査 ・適性検査(数学・物理・化学の基礎的素養) ・小論文 ・面接
6 私立	愛知工業大学	工学部 経営学部 情報科学部	全学科	学校推薦型選抜	37名	令和4年11月1日～4日	令和4年11月13日 ※昭和64年度入試より実施	・書類審査 ・小論文 ・面接(口頭試問を含む)
7 私立	芝浦工業大学	工学部 システム理工学部 デザイン工学部 建築学部	全学科	公募制推薦入学者選抜(女子)	64名	令和4年10月1日～7日	令和4年10月23日 ※平成30年度入試より実施	・書類審査 ・筆記試験(数学、理科(物理または化学)) ・面接
8 私立	大同大学	工学部 情報学部	全学科	総合型選抜	33名	令和4年10月3日～13日	令和4年10月22日 ※平成5年度入試より実施	・調査書、活動報告書、志願理由書 ・小論文 ・面接

注:ウェブ上に公表されている各大学の募集要項等の情報により作成

## 2. 高大接続改革の現状について

10

### 「高大接続改革」の必要性

- 国際化、情報化の急速な進展

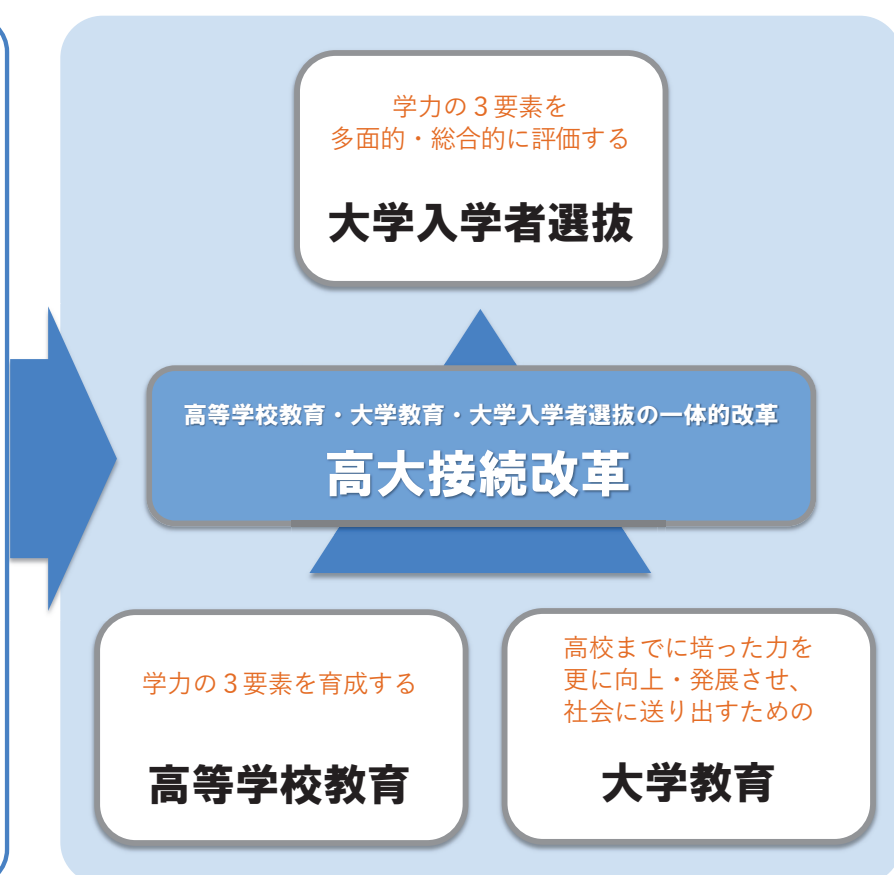


社会構造も急速に、かつ大きく変革。

- 知識基盤社会のなかで、新たな価値を創造していく力を育てることが必要。
- 社会で自立的に活動していくために必要な「学力の3要素」をバランスよく育むことが必要。

#### 【学力の3要素】

- ① 知識・技能の確実な習得
- ② (①を基にした)  
思考力、判断力、表現力
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度



11

# 大学入試改革について

## 教育再生実行会議第四次提言

「高等学校教育と大学教育との接続・大学入学者選抜の在り方について」(平成25年10月31日)

大学入学者選抜は、高等学校教育を基盤として、各大学のアドミッションポリシーの下、能力・意欲・適性を見極め、大学での教育に円滑につなげていくことが必要。このため、大学入試のみを問題にするのではなく、**高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の在り方について、一体的な改革を行う必要**

### 多面的・総合的に評価・判定する大学入学者選抜への転換

大学入学者選抜は、各大学のアドミッションポリシーに基づき、能力・意欲・適性や活動歴を**多面的・総合的に評価・判定するものに転換**

### 達成度テスト(発展レベル)(仮称)の導入

国は、大学教育を受けるために必要な能力の判定のための**新たな試験を導入**。外国語等の外部検定試験の活用を検討

## 文部科学省における主な取組

- ◆中央教育審議会答申(平成26年12月)、高大接続システム改革会議最終報告(平成28年3月)等に沿って、大学入学者選抜の改革を推進
- ◆受験生の「学力の3要素」\*について、**多面的・総合的に評価する入試に転換**

\*: ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

### ●大学入学共通テスト実施方針(平成29年7月13日)

- 知識・技能を十分有しているかの評価も行いつつ、**思考力・判断力・表現力を中心に評価**

- 「国語」、「数学I」、「数学I・数学A」については、マークシート式問題に加え、**記述式問題を出題**

- 英語の「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を適切に評価するため、**共通テストの枠組みにおいて、現に民間事業者等により広く実施され、一定の評価が定着している資格・検定試験を活用**

#### マークシート問題の工夫・改善

#### 記述式問題について指摘された主な課題

- ①質の高い採点者の確保
- ②正確な採点
- ③採点結果と自己採点の不一致 など

#### 英語成績提供システムについて指摘された主な課題

- ①受験に係る地域的事業や経済的に困難な者への対応
- ②障害のある受験者への配慮
- ③異なる試験を活用することの公平性 など

令和元年11月・12月 安心して受験できる配慮などの準備状況が十分ではないことから、共通テストにおける英語成績提供システム・記述式問題の**導入見送り**を発表

### ●大学入試のあり方に関する検討会議

令和元年12月27日 設置 → 英語4技能評価や記述式出題を含めた**大学入試のあり方について改めて検討**

令和3年7月8日 提言

記述式問題の出題や総合的な英語力の評価について、共通テストの枠組みへ導入するのではなく、**各大学の個別試験においてその取組を推進**

※ 令和3年7月30日付けで、大学入学共通テスト実施方針を正式に廃止

12

## 大学入試のあり方に関する検討会議提言(令和3年7月8日) 概要

### 検討経緯

✓高校・大学関係団体の代表者や有識者を構成員とし、令和2年1月～令和3年6月まで、計28回実施(大臣臨席の下、月2回ペースで実施)

### 1. 大学入学者選抜のあり方と改善の方向性

#### (1) 大学入学者選抜に求められる原則

- ①当該大学での学修・卒業に必要な能力・適性等の判定
- ②受験機会・選抜方法における公平性・公正性の確保
- ③高等学校教育と大学教育を接続する教育の一環としての実施

#### (2) 意思決定のあり方

✓議論の透明性、データやエビデンスの重視、工程の柔軟な見直し 等

#### (3) 入試システム全体に目配りした検討の重要性

✓共通テストは安定的で確実な実施を重視、個別試験は各大学が必要とする能力・適性等の評価を一層重視

### 2. 記述式問題の出題のあり方

#### (1) 出題の実態や大学の意見

✓各大学の個別入試で記述式を充実すべきとの意見が多い

#### (2) 記述式問題の推進の考え方

✓(共通テストへの導入に関する諸課題の克服の困難性を考えると、)各大学の個別試験や総合型・学校推薦型選抜で自らの考えを論理的にまとめ表現する能力の評価を推進

#### (3) 記述式問題の出題の推進策

✓大学入試センター、大学との連携・協働により、問題作成・採点の工夫事例を提供

### 3. 総合的な英語力の育成・評価のあり方

#### (1) 英語資格・検定試験の活用の実態や大学の意見

✓各大学の個別入試や総合型・学校推薦型で活用すべきとの意見が多い。

#### (2) 総合的な英語力評価の推進の考え方

✓大学独自に読む、書く、聞く、話すの総合的な英語力テストを開発することは難しく、資格・検定試験の活用が推進が必要  
✓(「大学入試英語成績提供システム」の導入に関する諸課題の克服の困難性を考えると、)対象試験、スコアの扱いは大学が判断し、総合的な英語力評価を推進

#### (3) 総合的な英語力評価の推進策

✓地理的・経済的事業や障害者への配慮等について、文科省が主導して試験実施団体・高大の関係者による恒常的な協議体を設置

### 4. 地理的・経済的事業、障害者等への対応

#### (1) 受験機会における地理的・経済的条件等への配慮

✓特別選抜等の促進(好事例の公表など)

例) 養護施設出身者対象選抜、地域枠・離島枠、進学第一世代対象奨学金 等

✓受験から入学に至るプロセスへの支援等

入学金納付時期の猶予・減免等の柔軟な配慮、生活福祉貸付金制度等の周知

#### (2) 障害者への合理的配慮の充実

### 5. 新学習指導要領への対応等

✓令和6年度実施の大学入学共通テストは、引き続き、思考力・判断力等を重視、教科「情報」を新設

✓必要なスリム化を実施(6教科30科目→7教科21科目)

### 6. コロナ禍での状況変化を踏まえた改革

#### (1) 秋季入学等への対応

✓多様な学生を多面的に評価するため総合型・学校推薦型選抜などで選抜する方向が適当

#### (2) デジタル化の推進

✓共通テストの電子出願の早期導入、オンライン面接やCBT研究開発等の推進

### 7. 大学入試の実態把握・公表・検討体制

✓大学入試実態調査の継続実施

✓合否判定の基準、試験問題、男女別入学者数等の各大学による公表

✓記述式の出題や総合的な英語力の評価、多様な背景を持つ学生の受入れ、入学時期や修学年限の多様化への対応等については、好事例を認定・公表するとともに、その結果も活用し、インセンティブの付与を検討



# 大学入学者選抜改革の進捗状況

## 改革の方向性(平成26年12月～)

- 我が国の将来を担う若者が未来を切り拓くために必要な資質・能力の育成を目指し、高等学校教育改革、大学教育改革、その間をつなぐ大学入学者選抜改革を一体的に推進
- 大学入学者選抜**は、高等学校段階までに身に付けた力を大学で発展・向上させるという一貫したプロセスを前提として、大学の入口段階で**入学者に求める力を多面的・総合的に評価・判定するものに転換**

## 個別大学における入学者選抜改革

### ①「学力の3要素※」を多面的・総合的に評価する入学者選抜への改善

※「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」

- 志願者の資質・能力を丁寧かつ確実に評価※する**総合型選抜**や**学校推薦型選抜**の推進(令和2年6月～)

※学力検査や共通テストの他、小論文、資格検定試験、面接、プレゼンテーション、調査書を適切に組合せて評価

→ **入学者の約5割**が総合型・学校推薦型で入学

- 一般選抜**でも「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を十分に評価するため、**多様な評価方法を推進**(令和2年6月～)

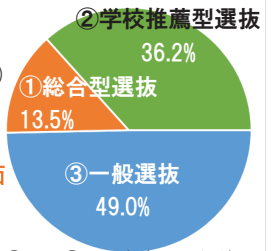
→ **7割以上の国立大学**が学力検査以外の資料等も評価

### ②多様な背景を持った者の選抜の推進

- 進学機会の確保に困難があると認められる者や理工系分野における女子等**多様性を確保する観点から対象になる者を対象**に志願者の**努力のプロセス、意欲、目的意識等を重視**する評価方法を推進(令和4年6月～)

→ **女子枠設定8大学**など、**多様な背景を持った者の選抜に取り組む大学は95大学**

令和4年度入学者選抜における入試方法別入学者割合(国公私計)



※ ①及び②の入学者は5年前と比較すると約4万人増加

## 「大学入学共通テスト」の導入

- 多数の大学入学志願者が受験する大学入試センター試験から大学入学共通テストに転換し、**より思考力・判断力・表現力等を重視**(令和3年1月から「大学入学共通テスト」実施) → **現役高校生の約半数が受験**

※ 共通テストの枠組みで実施予定だった英語成績提供システムや記述式については、公平性の観点等から有識者会議の議論を経て、個別大学の入学者選抜で推進(令和3年7月～)

- 主体的・対話的で深い学び**を実現するための**新学習指導要領対応した令和7年度入学者選抜**の実施に向け、大学入試センター・各大学は、**総力を挙げて準備中**

- 総合的な英語力や思考力・判断力・表現力等の評価**や**多様な背景を持った学生の受入れ**など、他大学の模範となる**好事例を選定・公表**(令和4年8月)するとともに優れた取組を推進するために**基盤的経費によるインセンティブ付与**

## 3. 大学入学者選抜における好事例集について



## 「令和4年度大学入学選抜における好事例集（令和5年5月文部科学省高等教育局）」について

### 事例集作成の目的

- 令和3年7月に取りまとめられた「大学入試のあり方に関する検討会議提言」においては、記述式問題の出題や総合的な英語力の育成・評価、多様な背景を持つ学生の受入れなどについて、他大学の模範となる先導的な取組を推進するため、客観的なデータを踏まえたピアレビュー等に基づき好事例を認定し、公表することが提言されている。
- これを踏まえ、文部科学省において、令和3年10月に「大学入学選抜における好事例選定委員会」を設置し、高大接続改革や大学入学選抜方法の改善を一層促進する観点から、令和3年度版の試行的な選定に引き続き、他大学の模範となる好事例を選定し、本事例集を取りまとめた。

[https://www.mext.go.jp/content/20230525-mxt\\_daigakuc02-000005144\\_001.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20230525-mxt_daigakuc02-000005144_001.pdf)

### 好事例の選定方法

- 調査対象は国公私立大学・短期大学で、各大学から好事例と考えられる取組について記載いただいた令和4年度大学入学選抜実態調査の回答をもとに選定委員会において審査を実施し、他大学の参考となり得ると考えられる取組 **17件**を選定した。
- 選定にあたっては、「大学入学選抜のあり方に関する検討会議提言（R3.7.8文部科学省）」を踏まえ、特に推進が求められている以下を選定の対象項目として設定した。

ア	総合的な英語力の評価・育成	(選定件数：3件)
イ	思考力・判断力・表現力の評価・育成	(選定件数：7件)
ウ	多様な背景を持った学生の受入れへの配慮	(選定件数：4件)
エ	高校との連携をはじめとする高大接続改革の推進	(選定件数：3件)
オ	文理融合の推進やその他の好事例	(選定件数：1件)

※複数の区分で選定されている好事例もあるため、選定件数の合計は17件と一致しない。

16

## 「令和4年度大学入学選抜における好事例集（令和5年5月文部科学省高等教育局）」における好事例について

### 選定区分ア 総合的な英語力の評価・育成

#### ● 明治大学「学部別入試（英語4技能試験活用方式）」

英語資格・検定試験のスコアを出願資格又は得点加算に活用し、その加点の基準は、総合スコアのみならず4技能毎のスコアも各試験に応じて設定。入学後も将来海外留学や国際ビジネス分野での活躍を目指すためのカリキュラム等の学修機会を提供。

#### ● 中村学園大学「グローバル人材育成選抜」

8つの英語資格・検定試験のいずれかにおける級・スコアを出願要件とし、英語・国語・数学又は社会の3科目の試験により選抜。入学後一定の累積修得単位数及びGPAを満たした者に対し、海外協定校への派遣留学を原則1年間支援。

#### ● 東京都市大学「学際探究入試」

8つの英語資格・検定試験のいずれかにおける一定の級・スコアを出願要件とし、調査書・志望理由書に加え、全て英語による面接で選抜。入学後は、「ひらめき・こと・もの・ひと」プログラム及び国際インバタ育成オーナープログラムに参加することで入試と入学後の学びを接続。

### 選定区分イ 思考力・判断力・表現力の評価・育成

#### ● 宮城大学「一般選抜」

一般選抜の個別学力検査で「読解」「情報分析及び活用」「表現」の観点からなる記述式総合問題『論説』を出題。従来の小論文ではカバーできない探究活動で培った力、特に論拠を見出して論理的に思考し、とりまとめる力を評価。

#### ● 信州大学「一般選抜」

大学入学共通テストで測りにくい能力を総合問題で適切に判定。教科の知識を横断する総合的な教養と、論理的で首尾一貫した論述内容を構想し、それを適切に表現する力を測る。

#### ● 東北大学「一般選抜／AO入試Ⅱ期、Ⅲ期」

特任教授（高校教員経験者）及び特定教授（名誉教授）が作題・採点業務支援を実施。高等学校学習指導要領を熟知した高校教員経験者による質の高い作題支援と、シニア教員を活用した試験問題の安定化と現役教員の負担軽減を図る。

#### ● 創価大学「PASCAL入試」

アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた選抜方式により、高校生一人一人の主体性・協働性といった行動特性の能力・資質、思考力・判断力・表現力を評価。受験前に体験会も実施し、入学前に高校生の能力を高める「育成型入試」の一面も持つ。

#### ● 新潟大学「総合型選抜（理系科目／文系科目選択型）」

理系・文系両テーマの講義受講とレポートを全受験者に課し、分野を超えた視野の広い総合的な探究力を評価。入学後の文理融合による課題解決型学修や、第三者企業による全国レベルでの客観的検証も実施。

#### ● 神戸大学『「志」特別選抜』 ※選定区分イにおいても選定

基礎学力の担保に加え思考力・判断力・表現力を評価する記述式の総合問題など、書類審査から最終選抜を通じて「学力の3要素」を多面的・総合的に評価。入学前3ヶ月での問題演習課題設定及び添削等によりきめ細かく指導し、大学の学びへ橋渡しを行う。

17

● **横浜市立大学「特別公募制学校推薦型選抜」**

基礎学力の担保とともに面接を重視した3段階の選抜方式。特に2次面接審査では、各受験者が5つの観点別の面接室を巡るMMI（Multiple Mini Interview）を実施し、評価のプレを抑えつつ多様な資質を評価。

**選定区分ウ 多様な背景を持った学生の受入れへの配慮**

● **青山学院大学「全国児童養護施設選抜」**

スクール・モットー「地の塩、世の光」に基づき、児童養護施設入所者を対象に限定した選抜。入学後の学費、諸会費等の免除や奨学金の給付など、手厚い支援制度で在学中の学びの環境を整える。

● **東京女子大学「知のかけはし入学試験」**

経済的理由により進学が困難な女子生徒に対して、多面的・総合的評価を行う総合型選抜に奨学金制度を付け、年内に進路を決定。学納金相当額（入学金・授業料・教育充実費）及び寮費相当額（該当者のみ）を卒業までの4年間にわたって給付。

● **芝浦工業大学「公募制推薦入学者選抜（女子）」**

女子学生獲得のために理工学分野に強い関心と意欲をもつ女子生徒を基礎学力テストや面接で評価し、入学金相当の奨学金給付制度とセットで実施。理工学分野での女性の活躍を支援する全学体制を確立。

● **熊本県立大学「特別選抜“くまもと夢実現”学校推薦型選抜」**

熊本県内の生活保護世帯に属する生徒を対象とし、入学者選抜手数料、入学金及び4年間の授業料を免除。県民に広く高等教育機会を提供するという理念の下、経済的事情から大学進学を断念せざるを得ない進学希望者の夢を実現。

**選定区分工 高校との連携をはじめとする高大接続改革の推進**

● **工学院大学「探究成果活用型」**

協定校と共催する探究シンポジウム（合同発表会・交流会等）を通じて、高校生が日頃取り組んでいる探究活動の発表・交流の場を構築。高校生の探究成果をアーカイブする探究データベースの構築など、大学の得意分野を活かした高大接続の取組を推進。

● **産業能率大学「キャリア教育接続方式」**

3日間のキャリア教育プログラムと連動した、自己のキャリア構想に基づく課題解決プランのプレゼンテーション及び面接により選抜。総合的な探究の時間等による高校での多様な学びをキャリア構想に発展させ評価し、入試を通じて高校生自身の成長も促す。

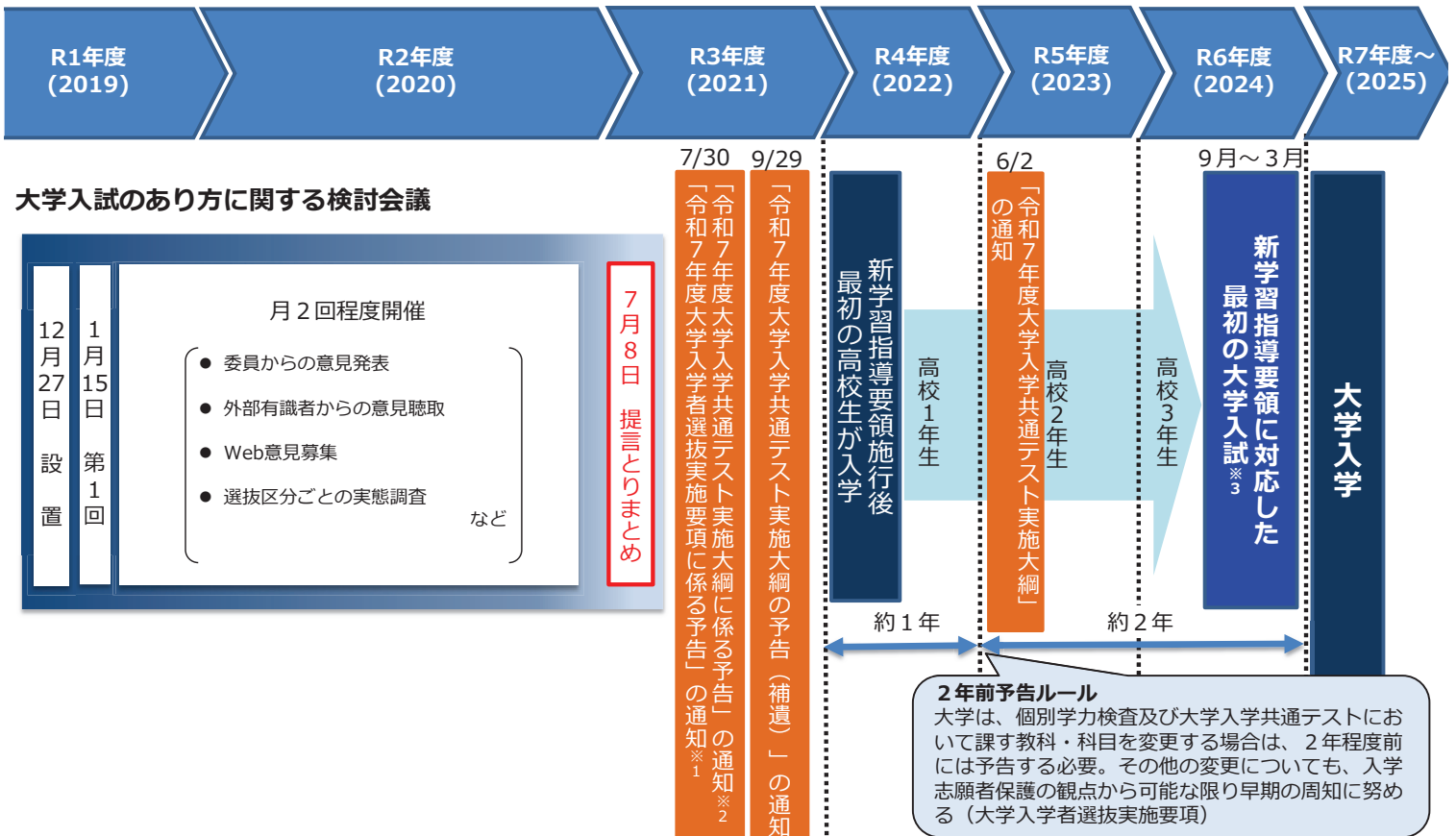
**選定区分オ 文理融合の推進やその他の好事例**

● **青山学院大学「社会情報学部入試（個別学部日程D方式）」**

社会科学・人間科学・情報科学分野の教員構成となっている、文理融合系学部の特徴を活かした多様な視点での考察を測る独自問題（総合問題）を出題。入学後に文理融合の複数領域を学ぶ資質を評価できる入試を実現し、入学後のミスマッチを防ぐ。

## 4. 新学習指導要領に対応した 令和7年度大学入学者選抜について

# 令和6（2024）年度実施の大学入試に向けたスケジュール



※1 実際の大学入学者選抜実施要項は、入試実施年度の6月頃に文部科学省より通知  
 ※2 実際の大学入学共通テスト実施大綱は、入試実施の前年度の6月頃に文部科学省より通知  
 ※3 総合型選抜：9月以降出願 学校推薦型選抜：11月以降出願 大学入学共通テスト：1月 一般選抜：2・3月 20

## 令和7年度大学入学者選抜実施要項の予告（概要）① （令和3年7月30日付3文科高第471号 文部科学省高等教育局長通知）

平成30年3月の高等学校学習指導要領の改訂に対応した各大学の令和6年度に実施する入学者選抜の変更等が、入学志願者の準備に大きな影響を及ぼすことが予想されることから、各大学の2年前予告（遅くとも令和4年度末）を速やかに行えるように令和3年3月31日「大学入学者選抜における多面的な評価の在り方に関する協力者会議審議のまとめ」及び同年7月8日「大学入試のあり方に関する検討会議提言」等を踏まえ、大学入学者選抜実施要項等の見直し内容を予告（令和3年7月30日）。

### 基本方針

- 提言において整理された大学入学者選抜の三原則※を基本方針に反映。  
 <大学入学者選抜の三原則>
  - ①当該大学での学修・卒業に必要な能力・適性等の判定
  - ②受験機会・選抜方法における公平性・公正性の確保
  - ③高等学校教育と大学教育を接続する教育の一環としての実施
- 多様な背景を持った学生の受入れ配慮対象の例示として障害の有無、居住地域を追加。

### 入試方法

- 「一般選抜」とそれ以外という整理を「一般選抜」、「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」に再整理。
- 入学者の多様性を確保する観点から、入学定員の一部について、以下のような者を対象として選抜を工夫。
  - ・ 専門学科・総合学科卒業生、帰国生徒、社会人
  - ・ 家庭環境、居住地域、国籍、性別等の要因により進学機会の確保に困難がある者その他（理工系分野における女子等）の者※
 ※この場合は入学志願者の努力のプロセス、意欲、目的意識等を重視し、評価・判定。

### 学力検査等

- 「自らの考えを論理的・創造的に形成する思考・判断の能力」や「思考・判断した過程や結果を的確に、更には効果的に表現する能力」の評価充実のため、可能な範囲で記述式の導入を要請。  
 ・各大学のアドミッション・ポリシーに基づき、可能な範囲で記述式の検査方法を取り入れることが望ましい。
- 総合的な英語力を適切に評価・判定する観点から、資格・検定試験等の活用を従来どおり規定。
- 家庭環境や居住地域により、資格・検定試験等を受検することの負担が大きい入学志願者への配慮要請。  
 ・資格・検定試験等の結果を利用しない選抜区分の設定  
 ・個別学力検査と資格・検定試験等の結果の選択的利用 等
- 令和7年度入学者選抜に係る共通テストより「簿記・会計」「情報関係基礎」が廃止されることに伴い、専門高校生の進学機会の確保への対応として、資格・検定試験等の活用を要請。

### 障害者への合理的配慮

- 障害のある入学志願者への合理的配慮の充実を図るため、以下のことを要請。
  - ・ 障害のある入学志願者一人一人の個別のニーズを踏まえた建設的対話を行うこと。
  - ・ 相談窓口、支援相談部署等を設置するなど事前相談体制の構築・充実に努めること。

### 調査書様式の見直し

- 簡素化された指導要録の参考様式に合わせて、調査書様式の簡素化等を行う。枚数は表裏の両面1枚とする。



# 令和7年度大学入学者選抜実施要項の予告（概要）②

（令和3年7月30日付3文科高第471号 文部科学省高等教育局長通知）

## （別添）令和7年度大学入学者選抜実施要項見直しイメージ（案）【調査書様式（表面）】

令和4年度大学入学者選抜実施要項 別紙様式	イメージ案																																																																																																																																																																				
<p>(別紙様式1)</p> <p>(表)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">氏名</th> <th colspan="2">性別</th> <th colspan="2">住所</th> <th colspan="2">学籍</th> </tr> <tr> <td>1. ふりがな</td> <td>昭和平成</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> <td>生</td> <td>現住所</td> <td>都道府県 市区 町村 丁目 番 号</td> </tr> <tr> <td>2. 各教科・科目等の学習の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">教科</th> <th rowspan="2">科目</th> <th colspan="4">評定</th> <th rowspan="2">修得単位数</th> </tr> <tr> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> <th>第4学年</th> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>3. 各教科の学習成績の状況</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>教科</th> <th>科目</th> <th>評定</th> <th>修得単位数</th> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>4. 学習成績概評</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>段階</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>合計</th> <th>(人)</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	氏名		性別		住所		学籍		1. ふりがな	昭和平成	年	月	日	生	現住所	都道府県 市区 町村 丁目 番 号	2. 各教科・科目等の学習の記録	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">教科</th> <th rowspan="2">科目</th> <th colspan="4">評定</th> <th rowspan="2">修得単位数</th> </tr> <tr> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> <th>第4学年</th> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							教科	科目	評定				修得単位数	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	合計							3. 各教科の学習成績の状況	<table border="1"> <tr> <th>教科</th> <th>科目</th> <th>評定</th> <th>修得単位数</th> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							教科	科目	評定	修得単位数	合計				4. 学習成績概評	<table border="1"> <tr> <th>段階</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>合計</th> <th>(人)</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							段階	A	B	C	D	E	合計	(人)	人数								<p>(別紙様式1)</p> <p>(表)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">氏名</th> <th colspan="2">性別</th> <th colspan="2">住所</th> <th colspan="2">学籍</th> </tr> <tr> <td>1. ふりがな</td> <td>昭和平成</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> <td>生</td> <td>現住所</td> <td>都道府県 市区 町村 丁目 番 号</td> </tr> <tr> <td>2. 各教科・科目等の学習の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">教科</th> <th rowspan="2">科目</th> <th colspan="4">評定</th> <th rowspan="2">修得単位数</th> </tr> <tr> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> <th>第4学年</th> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>3. 各教科の学習成績の状況</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>教科</th> <th>科目</th> <th>評定</th> <th>修得単位数</th> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>4. 学習成績概評</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>段階</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>合計</th> <th>(人)</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>「各教科・科目の観点別学習状況」の項目は直ちには設けない。      ※各教科・科目の観点別学習状況の項目は直ちに設けることはせず、今後の高等学校における観点別学習状況の評価の充実の状況、大学における観点別学習状況の活用方法の検討の進展等を見極めつつ、条件が整い次第可能な限り早い段階で調査書に項目を設けることを目指し、引き続き高等学校・大学関係者において検討を行うこととする。（「大学入学者選抜における多面的な評価の在り方に関する協力者会議」（審議のまとめ））</p>	氏名		性別		住所		学籍		1. ふりがな	昭和平成	年	月	日	生	現住所	都道府県 市区 町村 丁目 番 号	2. 各教科・科目等の学習の記録	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">教科</th> <th rowspan="2">科目</th> <th colspan="4">評定</th> <th rowspan="2">修得単位数</th> </tr> <tr> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> <th>第4学年</th> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							教科	科目	評定				修得単位数	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	合計							3. 各教科の学習成績の状況	<table border="1"> <tr> <th>教科</th> <th>科目</th> <th>評定</th> <th>修得単位数</th> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							教科	科目	評定	修得単位数	合計				4. 学習成績概評	<table border="1"> <tr> <th>段階</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>合計</th> <th>(人)</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							段階	A	B	C	D	E	合計	(人)	人数							
氏名		性別		住所		学籍																																																																																																																																																															
1. ふりがな	昭和平成	年	月	日	生	現住所	都道府県 市区 町村 丁目 番 号																																																																																																																																																														
2. 各教科・科目等の学習の記録	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">教科</th> <th rowspan="2">科目</th> <th colspan="4">評定</th> <th rowspan="2">修得単位数</th> </tr> <tr> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> <th>第4学年</th> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							教科	科目	評定				修得単位数	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	合計																																																																																																																																																		
教科	科目	評定				修得単位数																																																																																																																																																															
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年																																																																																																																																																																
合計																																																																																																																																																																					
3. 各教科の学習成績の状況	<table border="1"> <tr> <th>教科</th> <th>科目</th> <th>評定</th> <th>修得単位数</th> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							教科	科目	評定	修得単位数	合計																																																																																																																																																									
教科	科目	評定	修得単位数																																																																																																																																																																		
合計																																																																																																																																																																					
4. 学習成績概評	<table border="1"> <tr> <th>段階</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>合計</th> <th>(人)</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							段階	A	B	C	D	E	合計	(人)	人数																																																																																																																																																					
段階	A	B	C	D	E	合計	(人)																																																																																																																																																														
人数																																																																																																																																																																					
氏名		性別		住所		学籍																																																																																																																																																															
1. ふりがな	昭和平成	年	月	日	生	現住所	都道府県 市区 町村 丁目 番 号																																																																																																																																																														
2. 各教科・科目等の学習の記録	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">教科</th> <th rowspan="2">科目</th> <th colspan="4">評定</th> <th rowspan="2">修得単位数</th> </tr> <tr> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> <th>第4学年</th> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							教科	科目	評定				修得単位数	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	合計																																																																																																																																																		
教科	科目	評定				修得単位数																																																																																																																																																															
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年																																																																																																																																																																
合計																																																																																																																																																																					
3. 各教科の学習成績の状況	<table border="1"> <tr> <th>教科</th> <th>科目</th> <th>評定</th> <th>修得単位数</th> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							教科	科目	評定	修得単位数	合計																																																																																																																																																									
教科	科目	評定	修得単位数																																																																																																																																																																		
合計																																																																																																																																																																					
4. 学習成績概評	<table border="1"> <tr> <th>段階</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>合計</th> <th>(人)</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							段階	A	B	C	D	E	合計	(人)	人数																																																																																																																																																					
段階	A	B	C	D	E	合計	(人)																																																																																																																																																														
人数																																																																																																																																																																					

# 令和7年度大学入学者選抜実施要項の予告（概要）③

（令和3年7月30日付3文科高第471号 文部科学省高等教育局長通知）

## （別添）令和7年度大学入学者選抜実施要項見直しイメージ（案）【調査書様式（裏面）】

令和4年度大学入学者選抜実施要項 別紙様式	イメージ案																																																																																																																																																																																																																																																										
<p>(表)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">氏名</th> <th colspan="2">性別</th> <th colspan="2">住所</th> <th colspan="2">学籍</th> </tr> <tr> <td>5. 総合的な学習の時間</td> <td>内容</td> <td>評価</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 特別活動の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>7. 指導上参考となる諸事項</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> </td> <td> <p>(表)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">氏名</th> <th colspan="2">性別</th> <th colspan="2">住所</th> <th colspan="2">学籍</th> </tr> <tr> <td>5. 総合的な学習の時間</td> <td>内容</td> <td>評価</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 特別活動の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>7. 指導上参考となる諸事項</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>各々が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、生徒にどのような力が身に付いたかを端的に記述する。</p> <p>文章記述を改め、各々が設定した観点に照らして十分満足できる活動状況であると判断される場合、○印を記入する。</p> <p>要点を簡潔書きするなど、その記載事項を必要最小限にとどめる。その際、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、原則として、学習指導等を進めていく上で必要な情報として精選して指導要録に記述された内容を元に記入する。</p> <p>現在、各大学は、志願者が大学の指定する特定の分野（保健体育、芸術、家庭、情報等）において、特に優れた学習成果を上げたことを備考欄に記載するよう求めることができるが、これらの事項については調査書以外の資料で、志願者本人から直接大学に提出する。</p> </td> </tr> </table></td></tr></table></td></tr></table></td></tr></table>	氏名		性別		住所		学籍		5. 総合的な学習の時間	内容	評価						6. 特別活動の記録	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>7. 指導上参考となる諸事項</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> </td> <td> <p>(表)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">氏名</th> <th colspan="2">性別</th> <th colspan="2">住所</th> <th colspan="2">学籍</th> </tr> <tr> <td>5. 総合的な学習の時間</td> <td>内容</td> <td>評価</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 特別活動の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>7. 指導上参考となる諸事項</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>各々が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、生徒にどのような力が身に付いたかを端的に記述する。</p> <p>文章記述を改め、各々が設定した観点に照らして十分満足できる活動状況であると判断される場合、○印を記入する。</p> <p>要点を簡潔書きするなど、その記載事項を必要最小限にとどめる。その際、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、原則として、学習指導等を進めていく上で必要な情報として精選して指導要録に記述された内容を元に記入する。</p> <p>現在、各大学は、志願者が大学の指定する特定の分野（保健体育、芸術、家庭、情報等）において、特に優れた学習成果を上げたことを備考欄に記載するよう求めることができるが、これらの事項については調査書以外の資料で、志願者本人から直接大学に提出する。</p> </td> </tr> </table></td></tr></table></td></tr></table>							学年	1	2	3	4	7. 指導上参考となる諸事項	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>							学年	1	2	3	4	8. 備考	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table>							学年	1	2	3	4	9. 出欠の記録	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							区分	学年	1	2	3	4	授業日数						出席停止・忌引き等の日数						留学中の授業日数						出席しなければならぬ日数						学校名	<p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p>							所在地	<p>学校名</p>							校長名	<p>所在地</p>								<p>校長名</p>							<p>(表)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">氏名</th> <th colspan="2">性別</th> <th colspan="2">住所</th> <th colspan="2">学籍</th> </tr> <tr> <td>5. 総合的な学習の時間</td> <td>内容</td> <td>評価</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 特別活動の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>7. 指導上参考となる諸事項</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>各々が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、生徒にどのような力が身に付いたかを端的に記述する。</p> <p>文章記述を改め、各々が設定した観点に照らして十分満足できる活動状況であると判断される場合、○印を記入する。</p> <p>要点を簡潔書きするなど、その記載事項を必要最小限にとどめる。その際、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、原則として、学習指導等を進めていく上で必要な情報として精選して指導要録に記述された内容を元に記入する。</p> <p>現在、各大学は、志願者が大学の指定する特定の分野（保健体育、芸術、家庭、情報等）において、特に優れた学習成果を上げたことを備考欄に記載するよう求めることができるが、これらの事項については調査書以外の資料で、志願者本人から直接大学に提出する。</p> </td> </tr> </table></td></tr></table>	氏名		性別		住所		学籍		5. 総合的な学習の時間	内容	評価						6. 特別活動の記録	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>7. 指導上参考となる諸事項</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>各々が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、生徒にどのような力が身に付いたかを端的に記述する。</p> <p>文章記述を改め、各々が設定した観点に照らして十分満足できる活動状況であると判断される場合、○印を記入する。</p> <p>要点を簡潔書きするなど、その記載事項を必要最小限にとどめる。その際、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、原則として、学習指導等を進めていく上で必要な情報として精選して指導要録に記述された内容を元に記入する。</p> <p>現在、各大学は、志願者が大学の指定する特定の分野（保健体育、芸術、家庭、情報等）において、特に優れた学習成果を上げたことを備考欄に記載するよう求めることができるが、これらの事項については調査書以外の資料で、志願者本人から直接大学に提出する。</p> </td> </tr> </table>							学年	1	2	3	4	7. 指導上参考となる諸事項	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>各々が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、生徒にどのような力が身に付いたかを端的に記述する。</p> <p>文章記述を改め、各々が設定した観点に照らして十分満足できる活動状況であると判断される場合、○印を記入する。</p> <p>要点を簡潔書きするなど、その記載事項を必要最小限にとどめる。その際、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、原則として、学習指導等を進めていく上で必要な情報として精選して指導要録に記述された内容を元に記入する。</p> <p>現在、各大学は、志願者が大学の指定する特定の分野（保健体育、芸術、家庭、情報等）において、特に優れた学習成果を上げたことを備考欄に記載するよう求めることができるが、これらの事項については調査書以外の資料で、志願者本人から直接大学に提出する。</p>							学年	1	2	3	4	8. 備考	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table>							学年	1	2	3	4	9. 出欠の記録	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							区分	学年	1	2	3	4	授業日数						出席停止・忌引き等の日数						留学中の授業日数						出席しなければならぬ日数						学校名	<p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p>							所在地	<p>学校名</p>							校長名	<p>所在地</p>								<p>校長名</p>						
氏名		性別		住所		学籍																																																																																																																																																																																																																																																					
5. 総合的な学習の時間	内容	評価																																																																																																																																																																																																																																																									
6. 特別活動の記録	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>7. 指導上参考となる諸事項</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> </td> <td> <p>(表)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">氏名</th> <th colspan="2">性別</th> <th colspan="2">住所</th> <th colspan="2">学籍</th> </tr> <tr> <td>5. 総合的な学習の時間</td> <td>内容</td> <td>評価</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 特別活動の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>7. 指導上参考となる諸事項</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>各々が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、生徒にどのような力が身に付いたかを端的に記述する。</p> <p>文章記述を改め、各々が設定した観点に照らして十分満足できる活動状況であると判断される場合、○印を記入する。</p> <p>要点を簡潔書きするなど、その記載事項を必要最小限にとどめる。その際、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、原則として、学習指導等を進めていく上で必要な情報として精選して指導要録に記述された内容を元に記入する。</p> <p>現在、各大学は、志願者が大学の指定する特定の分野（保健体育、芸術、家庭、情報等）において、特に優れた学習成果を上げたことを備考欄に記載するよう求めることができるが、これらの事項については調査書以外の資料で、志願者本人から直接大学に提出する。</p> </td> </tr> </table></td></tr></table></td></tr></table>							学年	1	2	3	4	7. 指導上参考となる諸事項	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>							学年	1	2	3	4	8. 備考	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table>							学年	1	2	3	4	9. 出欠の記録	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							区分	学年	1	2	3	4	授業日数						出席停止・忌引き等の日数						留学中の授業日数						出席しなければならぬ日数						学校名	<p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p>							所在地	<p>学校名</p>							校長名	<p>所在地</p>								<p>校長名</p>							<p>(表)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">氏名</th> <th colspan="2">性別</th> <th colspan="2">住所</th> <th colspan="2">学籍</th> </tr> <tr> <td>5. 総合的な学習の時間</td> <td>内容</td> <td>評価</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 特別活動の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>7. 指導上参考となる諸事項</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>各々が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、生徒にどのような力が身に付いたかを端的に記述する。</p> <p>文章記述を改め、各々が設定した観点に照らして十分満足できる活動状況であると判断される場合、○印を記入する。</p> <p>要点を簡潔書きするなど、その記載事項を必要最小限にとどめる。その際、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、原則として、学習指導等を進めていく上で必要な情報として精選して指導要録に記述された内容を元に記入する。</p> <p>現在、各大学は、志願者が大学の指定する特定の分野（保健体育、芸術、家庭、情報等）において、特に優れた学習成果を上げたことを備考欄に記載するよう求めることができるが、これらの事項については調査書以外の資料で、志願者本人から直接大学に提出する。</p> </td> </tr> </table></td></tr></table>	氏名		性別		住所		学籍		5. 総合的な学習の時間	内容	評価						6. 特別活動の記録	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>7. 指導上参考となる諸事項</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>各々が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、生徒にどのような力が身に付いたかを端的に記述する。</p> <p>文章記述を改め、各々が設定した観点に照らして十分満足できる活動状況であると判断される場合、○印を記入する。</p> <p>要点を簡潔書きするなど、その記載事項を必要最小限にとどめる。その際、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、原則として、学習指導等を進めていく上で必要な情報として精選して指導要録に記述された内容を元に記入する。</p> <p>現在、各大学は、志願者が大学の指定する特定の分野（保健体育、芸術、家庭、情報等）において、特に優れた学習成果を上げたことを備考欄に記載するよう求めることができるが、これらの事項については調査書以外の資料で、志願者本人から直接大学に提出する。</p> </td> </tr> </table>							学年	1	2	3	4	7. 指導上参考となる諸事項	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>各々が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、生徒にどのような力が身に付いたかを端的に記述する。</p> <p>文章記述を改め、各々が設定した観点に照らして十分満足できる活動状況であると判断される場合、○印を記入する。</p> <p>要点を簡潔書きするなど、その記載事項を必要最小限にとどめる。その際、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、原則として、学習指導等を進めていく上で必要な情報として精選して指導要録に記述された内容を元に記入する。</p> <p>現在、各大学は、志願者が大学の指定する特定の分野（保健体育、芸術、家庭、情報等）において、特に優れた学習成果を上げたことを備考欄に記載するよう求めることができるが、これらの事項については調査書以外の資料で、志願者本人から直接大学に提出する。</p>							学年	1	2	3	4	8. 備考	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table>							学年	1	2	3	4	9. 出欠の記録	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							区分	学年	1	2	3	4	授業日数						出席停止・忌引き等の日数						留学中の授業日数						出席しなければならぬ日数						学校名	<p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p>							所在地	<p>学校名</p>							校長名	<p>所在地</p>								<p>校長名</p>																							
学年	1	2	3	4																																																																																																																																																																																																																																																							
7. 指導上参考となる諸事項	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>							学年	1	2	3	4	8. 備考	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table>							学年	1	2	3	4	9. 出欠の記録	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							区分	学年	1	2	3	4	授業日数						出席停止・忌引き等の日数						留学中の授業日数						出席しなければならぬ日数						学校名	<p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p>							所在地	<p>学校名</p>							校長名	<p>所在地</p>								<p>校長名</p>							<p>(表)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">氏名</th> <th colspan="2">性別</th> <th colspan="2">住所</th> <th colspan="2">学籍</th> </tr> <tr> <td>5. 総合的な学習の時間</td> <td>内容</td> <td>評価</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 特別活動の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>7. 指導上参考となる諸事項</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>各々が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、生徒にどのような力が身に付いたかを端的に記述する。</p> <p>文章記述を改め、各々が設定した観点に照らして十分満足できる活動状況であると判断される場合、○印を記入する。</p> <p>要点を簡潔書きするなど、その記載事項を必要最小限にとどめる。その際、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、原則として、学習指導等を進めていく上で必要な情報として精選して指導要録に記述された内容を元に記入する。</p> <p>現在、各大学は、志願者が大学の指定する特定の分野（保健体育、芸術、家庭、情報等）において、特に優れた学習成果を上げたことを備考欄に記載するよう求めることができるが、これらの事項については調査書以外の資料で、志願者本人から直接大学に提出する。</p> </td> </tr> </table></td></tr></table>	氏名		性別		住所		学籍		5. 総合的な学習の時間	内容	評価						6. 特別活動の記録	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>7. 指導上参考となる諸事項</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>各々が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、生徒にどのような力が身に付いたかを端的に記述する。</p> <p>文章記述を改め、各々が設定した観点に照らして十分満足できる活動状況であると判断される場合、○印を記入する。</p> <p>要点を簡潔書きするなど、その記載事項を必要最小限にとどめる。その際、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、原則として、学習指導等を進めていく上で必要な情報として精選して指導要録に記述された内容を元に記入する。</p> <p>現在、各大学は、志願者が大学の指定する特定の分野（保健体育、芸術、家庭、情報等）において、特に優れた学習成果を上げたことを備考欄に記載するよう求めることができるが、これらの事項については調査書以外の資料で、志願者本人から直接大学に提出する。</p> </td> </tr> </table>							学年	1	2	3	4	7. 指導上参考となる諸事項	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>各々が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、生徒にどのような力が身に付いたかを端的に記述する。</p> <p>文章記述を改め、各々が設定した観点に照らして十分満足できる活動状況であると判断される場合、○印を記入する。</p> <p>要点を簡潔書きするなど、その記載事項を必要最小限にとどめる。その際、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、原則として、学習指導等を進めていく上で必要な情報として精選して指導要録に記述された内容を元に記入する。</p> <p>現在、各大学は、志願者が大学の指定する特定の分野（保健体育、芸術、家庭、情報等）において、特に優れた学習成果を上げたことを備考欄に記載するよう求めることができるが、これらの事項については調査書以外の資料で、志願者本人から直接大学に提出する。</p>							学年	1	2	3	4	8. 備考	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table>							学年	1	2	3	4	9. 出欠の記録	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							区分	学年	1	2	3	4	授業日数						出席停止・忌引き等の日数						留学中の授業日数						出席しなければならぬ日数						学校名	<p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p>							所在地	<p>学校名</p>							校長名	<p>所在地</p>								<p>校長名</p>																																				
学年	1	2	3	4																																																																																																																																																																																																																																																							
8. 備考	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table>							学年	1	2	3	4	9. 出欠の記録	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							区分	学年	1	2	3	4	授業日数						出席停止・忌引き等の日数						留学中の授業日数						出席しなければならぬ日数						学校名	<p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p>							所在地	<p>学校名</p>							校長名	<p>所在地</p>								<p>校長名</p>																																																																																																																																																																															
学年	1	2	3	4																																																																																																																																																																																																																																																							
9. 出欠の記録	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							区分	学年	1	2	3	4	授業日数						出席停止・忌引き等の日数						留学中の授業日数						出席しなければならぬ日数																																																																																																																																																																																																																											
区分	学年	1	2	3	4																																																																																																																																																																																																																																																						
授業日数																																																																																																																																																																																																																																																											
出席停止・忌引き等の日数																																																																																																																																																																																																																																																											
留学中の授業日数																																																																																																																																																																																																																																																											
出席しなければならぬ日数																																																																																																																																																																																																																																																											
学校名	<p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p>																																																																																																																																																																																																																																																										
所在地	<p>学校名</p>																																																																																																																																																																																																																																																										
校長名	<p>所在地</p>																																																																																																																																																																																																																																																										
	<p>校長名</p>																																																																																																																																																																																																																																																										
氏名		性別		住所		学籍																																																																																																																																																																																																																																																					
5. 総合的な学習の時間	内容	評価																																																																																																																																																																																																																																																									
6. 特別活動の記録	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>7. 指導上参考となる諸事項</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>各々が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、生徒にどのような力が身に付いたかを端的に記述する。</p> <p>文章記述を改め、各々が設定した観点に照らして十分満足できる活動状況であると判断される場合、○印を記入する。</p> <p>要点を簡潔書きするなど、その記載事項を必要最小限にとどめる。その際、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、原則として、学習指導等を進めていく上で必要な情報として精選して指導要録に記述された内容を元に記入する。</p> <p>現在、各大学は、志願者が大学の指定する特定の分野（保健体育、芸術、家庭、情報等）において、特に優れた学習成果を上げたことを備考欄に記載するよう求めることができるが、これらの事項については調査書以外の資料で、志願者本人から直接大学に提出する。</p> </td> </tr> </table>							学年	1	2	3	4	7. 指導上参考となる諸事項	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>各々が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、生徒にどのような力が身に付いたかを端的に記述する。</p> <p>文章記述を改め、各々が設定した観点に照らして十分満足できる活動状況であると判断される場合、○印を記入する。</p> <p>要点を簡潔書きするなど、その記載事項を必要最小限にとどめる。その際、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、原則として、学習指導等を進めていく上で必要な情報として精選して指導要録に記述された内容を元に記入する。</p> <p>現在、各大学は、志願者が大学の指定する特定の分野（保健体育、芸術、家庭、情報等）において、特に優れた学習成果を上げたことを備考欄に記載するよう求めることができるが、これらの事項については調査書以外の資料で、志願者本人から直接大学に提出する。</p>							学年	1	2	3	4	8. 備考	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table>							学年	1	2	3	4	9. 出欠の記録	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							区分	学年	1	2	3	4	授業日数						出席停止・忌引き等の日数						留学中の授業日数						出席しなければならぬ日数						学校名	<p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p>							所在地	<p>学校名</p>							校長名	<p>所在地</p>								<p>校長名</p>																																																																																																																																																					
学年	1	2	3	4																																																																																																																																																																																																																																																							
7. 指導上参考となる諸事項	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>8. 備考</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>各々が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、生徒にどのような力が身に付いたかを端的に記述する。</p> <p>文章記述を改め、各々が設定した観点に照らして十分満足できる活動状況であると判断される場合、○印を記入する。</p> <p>要点を簡潔書きするなど、その記載事項を必要最小限にとどめる。その際、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、原則として、学習指導等を進めていく上で必要な情報として精選して指導要録に記述された内容を元に記入する。</p> <p>現在、各大学は、志願者が大学の指定する特定の分野（保健体育、芸術、家庭、情報等）において、特に優れた学習成果を上げたことを備考欄に記載するよう求めることができるが、これらの事項については調査書以外の資料で、志願者本人から直接大学に提出する。</p>							学年	1	2	3	4	8. 備考	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table>							学年	1	2	3	4	9. 出欠の記録	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							区分	学年	1	2	3	4	授業日数						出席停止・忌引き等の日数						留学中の授業日数						出席しなければならぬ日数						学校名	<p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p>							所在地	<p>学校名</p>							校長名	<p>所在地</p>								<p>校長名</p>																																																																																																																																																																		
学年	1	2	3	4																																																																																																																																																																																																																																																							
8. 備考	<table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>9. 出欠の記録</td> <td colspan="7"> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td colspan="7"> <p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p> </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="7"> <p>学校名</p> </td> </tr> <tr> <td>校長名</td> <td colspan="7"> <p>所在地</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7"> <p>校長名</p> </td> </tr> </table>							学年	1	2	3	4	9. 出欠の記録	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							区分	学年	1	2	3	4	授業日数						出席停止・忌引き等の日数						留学中の授業日数						出席しなければならぬ日数						学校名	<p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p>							所在地	<p>学校名</p>							校長名	<p>所在地</p>								<p>校長名</p>																																																																																																																																																																															
学年	1	2	3	4																																																																																																																																																																																																																																																							
9. 出欠の記録	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止・忌引き等の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留学中の授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席しなければならぬ日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							区分	学年	1	2	3	4	授業日数						出席停止・忌引き等の日数						留学中の授業日数						出席しなければならぬ日数																																																																																																																																																																																																																											
区分	学年	1	2	3	4																																																																																																																																																																																																																																																						
授業日数																																																																																																																																																																																																																																																											
出席停止・忌引き等の日数																																																																																																																																																																																																																																																											
留学中の授業日数																																																																																																																																																																																																																																																											
出席しなければならぬ日数																																																																																																																																																																																																																																																											
学校名	<p>この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する                      令和 年 月 日</p>																																																																																																																																																																																																																																																										
所在地	<p>学校名</p>																																																																																																																																																																																																																																																										
校長名	<p>所在地</p>																																																																																																																																																																																																																																																										
	<p>校長名</p>																																																																																																																																																																																																																																																										



# 令和7年度大学入学共通テスト実施大綱【概要】①

(令和5年6月2日付 5文科高第370号 文部科学省高等教育局長通知)

## 新学習指導要領に対応した出題教科・科目

令和7年度大学入学共通テストの出題教科・科目は以下のとおりとする（『簿記・会計』『情報関係基礎』については出題しない）。

出題教科	科目(6教科30科目) ～令和5年度実施
国語	『国語』
地理歴史	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』 地理歴史及び公民から最大2科目を選択 ※同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。
公民	『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』
数学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』 ① ①から1科目を選択
	『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学B』『簿記・会計』『情報関係基礎』 ② ②から1科目を選択
理科	『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』 ① A:①から2科目を選択 B:②から1科目を選択 C:①から2科目及び②から1科目を選択 D:②から2科目を選択
	『物理』『化学』『生物』『地学』 ②
外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 1科目を選択



科目(7教科21科目) 令和6年度実施～
『国語』
『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『地理総合/歴史総合/公共』 地理歴史及び公民から最大2科目を選択 ※「地理総合/歴史総合/公共」を選択する場合は、出題範囲(「地理総合」、「歴史総合」、「公共」)のうち、いずれか2つの内容の問題を選択解答。 ※2科目を選択する場合は、以下の組合せ以外の出題科目の組合せを選択。 ・「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組合せを選択することはできない。 ・「地理総合/歴史総合/公共」を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできない。
『公共、倫理』『公共、政治・経済』『地理総合/歴史総合/公共』(再掲)
『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』 ① ①から1科目を選択 ※数学Aについては、2項目の内容(図形の性質、場合の数と確率)に対応した出題とし、全てを解答
『数学Ⅱ、数学B、数学C』 ② ※数学B及び数学Cについては、数学Bの2項目の内容(数列、統計的な推測)及び数学Cの2項目の内容(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)のうち3項目の内容の問題を選択解答
『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 最大2科目を選択 ※『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』を選択する場合は、出題範囲(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)のうち、いずれか2つの内容の問題を選択解答
『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』『情報Ⅰ』 1科目を選択

- 試験形態は、引き続き、問題冊子及びマークシート式解答用紙を使用し、PBT(紙ベース)。  
『英語』については、ICプレイヤーを使用する試験も実施。

# 令和7年度大学入学共通テスト実施大綱【概要】②

(令和5年6月2日付 5文科高第370号 文部科学省高等教育局長通知)

1. 実施期日 令和7年1月18日(土)、19日(日) (2日間)
2. 出題教科・科目の試験時間

- 国語：現在測定している内容を維持した上で多様な文章を提示する観点から、**90分**(現行：80分)
- 数学②：出題範囲が「数学Ⅱ」、「数学B」及び「数学C」となり、選択解答する項目数が2から3へ増加するため、**70分**(現行：60分)
- 情報：出題範囲や他教科の試験時間等を考慮し、**60分**(新教科)

教科	出題科目	試験時間
国語	『国語』	<b>90分</b>
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合/歴史総合/公共』	1科目選択 60分 2科目選択130分
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』(再掲)	(うち解答時間120分)
数学	① 『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	70分
	② 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	<b>70分</b>
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	1科目選択 60分 2科目選択130分 (うち解答時間120分)
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 ※『英語』については、ICプレイヤーを使用する試験も実施。	80分 【ICプレイヤー使用試験】 60分(うち解答時間30分)
情報	『情報Ⅰ』	<b>60分</b>

## 3. 旧教育課程履修者への経過措置

- 旧教育課程(平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程)を履修した入学志願者に対しては、**経過措置問題を出題**

教科	旧課程履修者が選択できる経過措置科目
地理歴史	『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』
公民	『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』
数学	① 『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』
	② 『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』
情報	『社会と情報』『情報の科学』に対応する経過措置を講じる。 ※『情報Ⅰ』とは別に、『旧情報』として出題することを、大学入試センターが決定(令和3年12月17日)

※理科：新教育課程及び旧教育課程の間で扱いが異なる内容を出題する場合は、必要に応じて、新教育課程を履修していない入学志願者が選択解答可能な問題を出題する。

## 令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱【概要】③

(令和5年6月2日付 5文科高第370号 文部科学省高等教育局長通知)

(別表) 新学習指導要領に対応した出題教科・地理歴史・公民における出題科目を選択する場合の選択方法について

	『地理総合、 地理探究』	『歴史総合、 日本史探究』	『歴史総合、 世界史探究』	『地理総合、歴史総合、公共』			『公共、 倫理』	『公共、 政治・経済』
				「地理総合」 及び 「歴史総合」	「地理総合」 及び 「公共」	「歴史総合」 及び 「公共」		
『地理総合、 地理探究』		○	○	×	×	○	○	○
『歴史総合、 日本史探究』	○		○	×	○	×	○	○
『歴史総合、 世界史探究』	○	○		×	○	×	○	○
『地理総合、 歴史総合、 公共』	「地理総合」 及び 「歴史総合」	×	×	×			○	○
	「地理総合」 及び 「公共」	×	○	○			×	×
	「歴史総合」 及び 「公共」	○	×	×			×	×
『公共、倫理』	○	○	○	○	×	×		×
『公共、政治・経済』	○	○	○	○	×	×	×	

※ 上記 6 出題科目のうちから 2 出題科目を選択する場合は、「○」の組合せから選択でき、「×」の組合せは選択できない。

26

## 令和7年度大学入学者選抜に係る共通テスト出題教科・科目の出題方法等 (概要)

(令和5年6月9日 大学入試センター公表)

### 旧教育課程による出題科目を受験できる者について

令和7年度共通テストの全ての受験者は、平成30年告示学習指導要領に基づく教科・科目の内容による試験を受験するのが原則であるが、「令和7年度実施大綱」において、旧教育課程を履修した入学志願者など、新教育課程を履修していない入学志願者に対しては、経過措置を講じることとされている。

このような経過措置の趣旨を踏まえ、旧教育課程による出題科目を受験できる者は、下記に示す旧教育課程履修者等のうち希望する者とする。同表に示す新教育課程履修者は、旧教育課程による出題科目を解答することはできない。

新教育課程履修者と旧教育課程履修等の定義 (令和5年7月一部改正)

#### 新教育課程履修者

- ① 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。)に令和4年4月に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者
- ② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者

#### 旧新教育課程履修者等

上記以外の者

- \* 高等学校等卒業生、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校(文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。)修了者又は修了見込み者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は令和4年3月以前の者など上記に該当しない者

27

# 令和7年度大学入学共通テスト得点調整の実施条件・方法について

(令和5年6月9日 大学入試センター公表)

- 大学入試センターにおいて検討を行い、以下の□で囲っている教科内の科目を得点調整の対象科目とすることを決定。

教科	経過措置科目	新課程科目
国語	—	『国語』
地理歴史	『旧地理A』『旧日本史A』『旧世界史A』 『旧地理B』『旧日本史B』『旧世界史B』	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』
		『地理総合、歴史総合、公共』
公民	『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』 『旧倫理、旧政治・経済』	『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『地理総合、歴史総合、公共』（再掲）
数学	① 『旧数学Ⅰ・旧数学A』	『数学Ⅰ、数学A』
	『旧数学Ⅰ』	『数学Ⅰ』
	② 『旧数学Ⅱ』	
	『旧数学Ⅱ・旧数学B』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』	『数学Ⅱ、数学B、数学C』
理科	—	『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』
外国語	—	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』
情報	『旧情報』	『情報Ⅰ』
	※現高校2年生の選択必修科目「社会と情報」「情報の科学」に対応する内容。	

28

## 令和7年度共通テストについて高等学校関係者にご留意いただきたいこと

### 【地理歴史、公民について】

- 計6科目の中から1～2科目を選択回答するが、2科目選択の場合、選択できない組み合わせについて周知頂くこと

### 【情報の経過措置について】

- 令和7年度試験で経過措置科目を受験する可能性のある生徒に対して、これまで出題されていない『旧情報（仮）』が出題されることを周知頂くこと
- その際、各学校で開講している科目が、「社会と情報」「情報の科学」のどちらであるのかが、生徒にとって明確になるように伝えていただきたいこと  
\* 選択問題は（どの科目を履修していたかにかかわらず）試験時間中に自由に選ぶことが可能です
- 特に、専門学科の科目や学校設定科目（教育課程の特例を含む）によって上記2科目を代替している場合には、それらの科目と「社会と情報」「情報の科学」の内容の対応関係について、十分なお説明を頂きたいこと

29

## 令和7年度大学入学者選抜における旧教育課程履修者に対する経過措置及び新教育課程履修者に対する出題について（通知）（抄）

（令和4年11月10日付 4文科高第1196号 文部科学省高等教育局長通知）

令和7年度大学入学者選抜を実施するに当たり、以下のことについて各大学に依頼。

・旧教育課程履修者が、不利にならないよう下記の事項に十分留意の上、必要に応じ経過措置を講ずること

・新教育課程履修者に対する出題に当たっては、履修内容に変更が生じているため、下記の事項に十分留意の上、出題すること

### 1. 旧教育課程履修者に対する経過措置について

#### (1) 大学入学共通テストについての留意事項

**経過措置科目として出題される『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』、『旧数学I』、『旧数学I・旧数学A』、『旧数学II・旧数学B』、『旧数学II』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』及び『旧情報（仮）』について、旧教育課程履修者の選択を認めることが望ましいこと。**

#### (2) 各大学における個別学力検査についての留意事項

大学入学共通テストにおいて採られる措置を参考にして、例えば以下の措置を講ずるなど、可能な限り配慮すること。

① 新教育課程による出題科目とこれに対応する旧教育課程の科目との**共通の内容を出題する。**

② **共通する範囲のみで出題することが困難と判断される場合には、必要に応じ旧教育課程の科目の範囲から出題する問題を別途用意し、選択解答できるようにする。**

#### 2. 新教育課程履修者に対する出題について（各大学における個別学力検査についての留意事項）

**改訂後の各科目の履修内容に十分留意の上出題すること。**特に「数学A」、「数学B」、「数学C」は項目を選択して履修するので、そのことに配慮すること。

#### 3. その他

上記1及び2については、対象となる入学志願者の学習準備に資するよう、決定後速やかに大学のホームページに掲載するなど広く情報提供するとともに、各大学において**令和6年7月31日までに発表予定の令和7年度大学入学者選抜に関する基本的事項及び令和6年12月15日までに発表予定の学生募集要項等においても明記すること。**

30

## 5. 令和7年度大学入学共通テストにおける「情報I」の導入について

31



# 令和7年度大学入学共通テスト（情報Ⅰ）に関する直近の動向

令和3年度  
(2021)

12月17日 **【入試センター】**令和7年度共通テスト『情報Ⅰ』経過措置問題の出題方法決定（『旧情報（仮）』の出題）、得点調整対象科目公表

**『旧情報（仮）』の出題方法**

「社会と情報」、「情報の科学」の共通部分に対応した問題を必答、それぞれの科目に対応した問題を選択解答

1月28日

**【国大協】**令和7年度入試からの共通テスト出題方針決定・公表

《公表内容》

現行5教科7科目 → R7～6教科8科目（『情報Ⅰ』含む）を原則とする

令和4年度  
(2022)

4月

新高等学校学習指導要領の実施  
※令和7年度大学入学者選抜の現役受験者が高校に入学

11月9日

**【入試センター】**教科科目の問題作成の方向性公表  
※国語、地歴、公民、数学、英語、情報（『旧情報（仮）』を含む）の試作問題も公表

年度内

**【各大学】2年前予告**  
※個別学力検査や共通テストで課す教科・科目の変更等、受験準備に大きな影響を及ぼすものについて、遅くとも年度内に公表

## 『情報Ⅰ』 試作問題

問2 次の文章の空欄 **オ** ～ **コ** に入れるのに最も適当なものを、後の解答群のうちから一つずつ選べ。

S：まずは、関数「枚数(金額)」のプログラムを作るために、与えられた金額ちょうどになる最小の硬貨枚数を計算するプログラムを考えてみます。もう少しヒントが欲しいなあ。

T：金額に対して、高額な硬貨から使うように考えて枚数と残金を計算していくとよいでしょう。また、金額に対して、ある額の硬貨が何枚まで使えて、残金がいくらになるかを計算するには、整数値の商を求める演算『÷』とその余りを求める演算『%』が使えるでしょう。例えば、46円に対して10円玉が何枚まで使えるかは **オ** で、その際にいくら残るかは **カ** で求めることができますね。

S：なるほど！あとは自分でできそうです。

Sさんは、先生(T)との会話からヒントを得て、変数 **kingaku** に与えられた目標の金額(100円以下)に対し、その金額ちょうどになる最小の硬貨枚数を計算するプログラムを考えてみた(図1)。ここでは例として目標の金額を46

- (1) Kouka = [1,5,10,50,100]
- (2) kingaku = 46
- (3) maisu = 0, nokori = kingaku
- (4) i を **キ** ながら繰り返す:
- (5) maisu = **ク** + **ケ**
- (6) nokori = **コ**
- (7) 表示する(maisu)

図1 目標の金額ちょうどになる最小の硬貨枚数を計算するプログラム

**オ**・**カ** の解答群

- ① 46 ÷ 10 + 1      ④ 46 % 10 - 1
- ② 46 ÷ 10          ③ 46 % 10

**キ** の解答群

- ① 5から1まで1ずつ減らし      ④ 4から0まで1ずつ減らし
- ② 0から4まで1ずつ増やし      ③ 1から5まで1ずつ増やし

② i      ③ nokori

**ケ**・**コ** の解答群

- ① nokori ÷ Kouka[i]      ④ nokori % Kouka[i]
- ② maisu ÷ Kouka[i]      ③ maisu % Kouka[i]

代金を支払う際の「上手な払い方」を考えるという問題解決の題材において、アルゴリズムとプログラミングの基本に関する理解を基に、示された要件を踏まえたプログラムを論理的に考察できるかを問う。(『情報Ⅰ』第3問)

支払いに使う硬貨の枚数の合計が計算され、変数 **nokori** に残りいくら支払えばよいか、という残金が計算される。